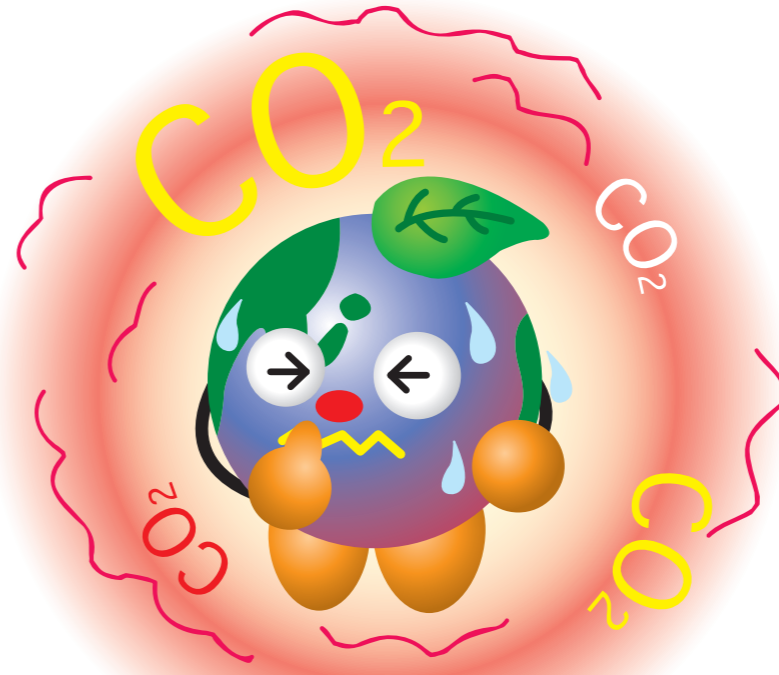
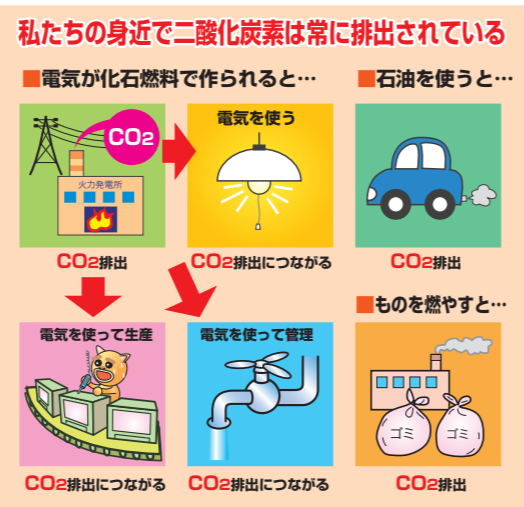


Q3 温室効果ガスを 出しているのは誰?

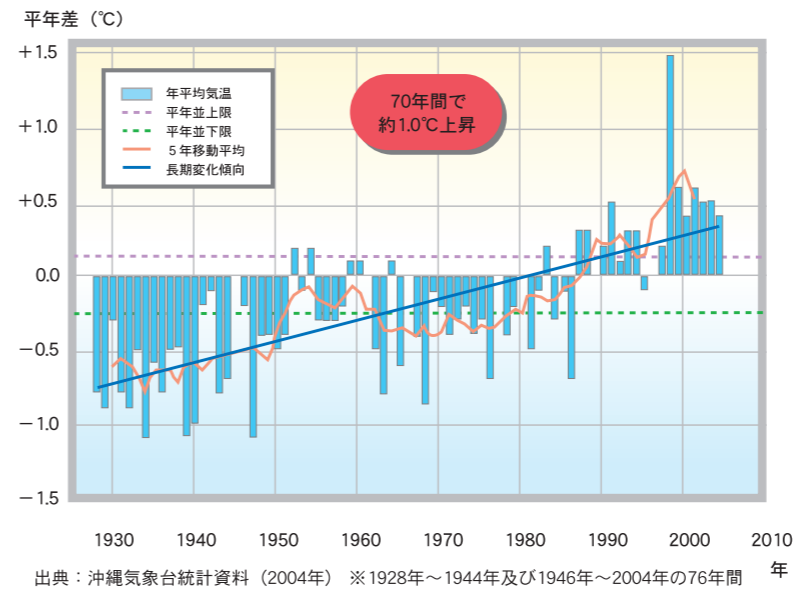
十八世紀の産業革命以降、私たちは石油や石炭、天然ガスといった化石燃料を大量に消費することによって、豊かな生活を手にしました。

しかし、一方で、長い年月をかけて地中に貯蔵していた化石燃料を燃焼させることで、二酸化炭素などの温室効果ガスを大量に出し続けているのです。

このように、地球温暖化は現代に生きる私たちの生活様式、経済活動と密接な関わりがあります。



沖縄県の平均気温の変化



みんな実践！ 身近な温暖化対策

「なんだか以前と比べて暑い日が多くなったなあ」と感じたことはありませんか？ ニュースなどで「異常気象」という言葉をよく耳にしませんか？

実は本県だけでなく、地域差はありますが、世界的規模で地球の平均気温が年々上昇する「地球温暖化」現象が進んでおり、それによりさまざまな気候変動が現れつつあります。

本県の温室効果ガス排出量

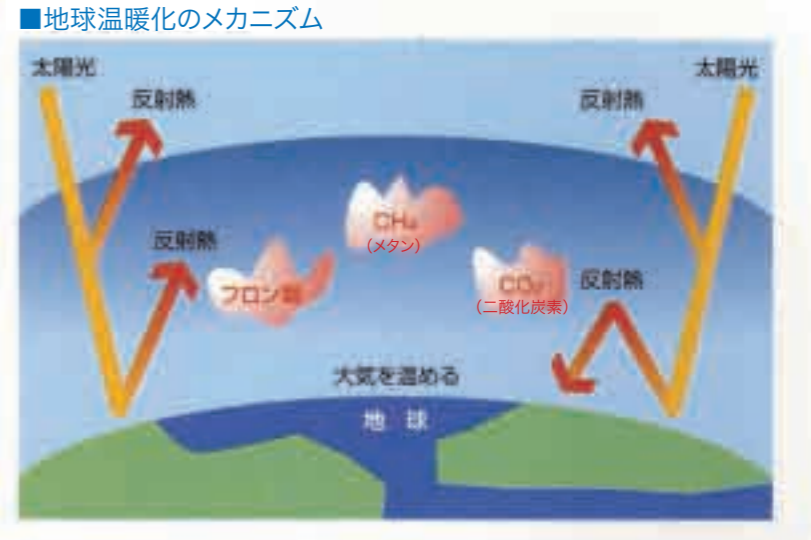
本県の温室効果ガス排出量は、一九九〇年度から二〇〇〇年度までの二〇年間で31.4%も増加しています。この間の全国の伸びは8%。

排出源の割合は、車社会を反映して運輸部門が30%と最も高く、次いで民生業務系（事務所での電気消費）24%、民生家庭系（電気消費など）22%、産業部門17%となっています。

産業部門からの排出量が比較的少なく、自動車利用や家庭、事務所での電気消費に伴う排出量が多いのが特徴で、県民一人一人の生活スタイルの見直しが必要になっていきます。

Q1 地球温暖化って何？

地球は太陽エネルギーで温められている一方で、熱エネルギーを宇宙に放射しています。このバランスにより地球全体の平均気温が15°Cに保たれているのですが、二酸化炭素、メタンなど赤外線を吸収する働きのあるガス（温室効果ガス）の濃度が上がると、熱エネルギーの放射バランスが崩れ、温室のように大気中に熱を蓄える量が増加し、地球全体の気温が少しずつ上昇していきま



Q2 地球温暖化が本県に及ぼす影響は？

地球温暖化の進行で氷河が溶け海面が上昇すると、砂浜が消え、これまで海浜植物に守られていた畑や住宅がともに被害を受けることとなります。

その他にも、珊瑚礁の白化現象やマングローブの消失など「生態系への影響」、洪水・干ばつの増加による「農林水産業への影響」、熱中症の増加やマラリアなどの感染症の増加など「人の健康への影響」が懸念されています。

みんなで止めよう温暖化

～できることから実践しよう～

私たちの普段の生活活動の一つ一つが少なからず地球温暖化の原因となっています。少しでも地球や身の回りの自然に思いやりを持って、できることから実践しましょう。

- ①冷房は28℃、暖房は20℃程度に設定しよう**
夏はかりゆしウェア、冬は重ね着をするなど服装に気を遣い冷暖房の温度を適正に設定しましょう。
(1世帯当たりの年間CO₂削減効果：約31kg)
- ②蛇口はこまめに締めよう**
1分間のシャワー時間短縮で約10リットルの水が節約できます。必要のないときはシャワーを止めましょう。
(1世帯当たりの年間CO₂削減効果：約65kg)
- ③アイドリングをなくそう**
 unnecessary エンジン の かけっぱなし は できる限り止めましょう。
(1世帯当たりの年間CO₂削減効果：約39kg)

- ④エコ製品を選んで買おう**
新しく家電製品を買うときに、ぜひ注目してほしいのが「省エネ性能」。エアコンや冷蔵庫などは省エネ性能の表示も普及し、購入の際の目安になっています。
(1世帯当たりの年間CO₂削減効果：冷蔵庫の場合約170kg)
- ⑤過剰包装を断ろう**
マイバッグで買い物しましょう。店舗によっては特典もあります。
(1世帯当たりの年間CO₂削減効果：約58kg)
- ⑥コンセントをこまめに抜こう**
使用頻度の低いものから実践してみましょう。スイッチ付きコンセントの活用なども便利です。
(1世帯当たりの年間CO₂削減効果：約87kg)
- ⑦公共交通機関を利用しよう。**
毎月1日、20日は「ノーマイカーデー」です。車の運転を控えて、ゆいレールやバス、タクシーを利用しましょう。
(自家用車1台当たりの年間CO₂削減効果：約100kg)

県では、温暖化問題に対する各種パンフレットを作成しています。また、地域環境センター（県庁4階 TEL：098-866-2638）では、地球温暖化問題に関する図書やビデオ、パネルの閲覧、貸出を行っています。

お問い合わせ 県環境政策課 TEL：098-866-2183 FAX：098-866-2240